

吉本・国沢・田岡、助役、藤本・福岡・門田を再選

一般会計予算は総額約4億円を補正

小笠原市政一期目で、議会改選後初めての十二月定例市議会(第

一四五回)は、十二月十一日から十四日間の会期で開かれました。

今議会には、両助役、収入役の選任、教育委員の任命や一般会計、空港周辺整備事業、國保、水道などの各会計補正予算など、二十九議案が提案され、六件に同意、十九件を可決、四件を継続審査としました。

議員の「ひのき舞台」である一般質問には十八名がたち、四日間にわたり活発な意見が出されました。

また、二期目を無投票で迎えた小笠原市長は、議会開会日の十一日、これから四年間の市政の道標である「施政方針」を次のように発表しました。

財政は五十一年度より議会の再建委員会の答申に基づき、議会職員、市民の一一致した努力により一般会計の表面的な赤字は二ヵ年ではほぼ解消しましたが、公社への未払金が約三十億円あり金利も莫大になっています。北部運動公園用地売却問題は地元との合意で基本的に合意し、十数木材畠地へ売却、残地は県の都市公園として残すことになり、市の財政上の負担軽減に大きく寄与する日も遠くありません。

空港は、多くの問題を残しながらも用地買取が進み、移転補償を除けば年度末にはほぼ完了することが期待されています。同和問題は、民主主義の基本にかかる国民的な課題であります。ですが、普通高校のないのは残念であります。

農業生産に留意すべきであります。

四国横断道路の領石インターは、地元の受入れの条件には多くの問題があり、引き続い関係機関、地元との協議が必要としています。

十市地区的パーカタウンは約九〇㌶が住宅供給公社によって進められ、高知医大も多額の投資により理想的な文教都市の建設が実現

可決された主な議案

■助役・収入役選任の同意

任期満了となり、引き続き選任しようととするもの。

■教育委員任命の同意

五名の教育委員のうち任期満了となる三名の教育委員を引き続き任命しようとするもの。

■印鑑登録と証明の方法を改正

改正は一度登録して登録証が交付されると、以後実印を持参しなくともよい、事務の簡素化などを利点です。

五十五年四月一日から。

■職員定数の改正

市長事務部局(各委員会事務局や消防本部などを除く)の職員定数三百六十九人を三百八十人に改めます。

月額五万一千円を七万四千三百円に。

■社会教育指導員の報酬を引き上げ

人事院勧告により一人当たり平均三六八円アップ。

■児童遊園地の開園

完成した野中四七五番地(三区東)の東部児童遊園地が市有財産となつたもの。

■母子家庭の通院医療費を助成

これまでの入院医療費助成に加えたいと考えております。

えて、母子家庭の通院医療費の自己負担分の七五%を助成することになります。

同和対策事業の一環として、地区漁民の生活安定を図るために建造(二隻)するもの。

■沿岸小型漁船の建造

浜改田部落公民館用地の宅地一

千八百平方㍍を(財)箇南児童福社協議会へ売却するもの。

■市道の認定

滝村、野田、岡豊の三地区で、各一线を市道に認定。

■財産の処分

農業整備改善事業六千百万円、保育一百万円、生活保護二千万円、保育一百五十万円など。歳出では人件費五千一百万円、老人医療三千二百万円、高知医大も多額の投資により農業整備改善事業六千百万円、保育一百五十万円など。歳出では人件費三千五百萬円、その他の土地区域改良に一千万円、土木費では医大三千万円、農業振興費では第二次農業整備改善事業六千百万円、保育一百万円、生活保護二千万円、保育一千五百萬円など。教育費では児童が増え続ける大蔭小学校の用地

採択された請願、陳情

〔請願〕

■福井病院内にある私立保育所連當の助成を六十万円にされたい。

■特別会計補正予算

空港周辺整備事業等特別会計で

は、物部と下島里公民館の建築に

二千百万円、周辺整備特認事業市

道、農道、水路五千六百万円を

補正。

■国分橋右岸側より上流、広域農道までの国分川右岸堤を河道に認

きかけてください。

■国分橋右岸側より上流、広域農

道までの国分川右岸堤を河道に認

きかけてください。

■文部省の四十名学級実現のための計画五年間を六年間に繰りあげ

るよう要望する意見書。

■議会に高知空港対策調査特別委員会を設置し、十二人の委員をもつて構成、高知空港に関する対策、調査を継続して調査すること。

愛は恵まれるもので貰われるものでない。ロングフェロー(アメリカ)

されつあります。公害のない工業誘致など産業面からもバランスのとれた都市を形成することに力を注ぎ、南国市の弱点といわれる南北道路、高知東バイパス、広域農道、春野赤岡線の着工も時間の問題で経済産業の発展に寄与することを期待し、一層の努力をしたいと思います。流域下水道事業、

さすが、普通高校のないのは残念であります。

国鉄阿佐線は南国市に再び都市計画という大きな課題を投げかけて来ることが予想され、今から研究する必要を感じています。

当市は土佐の国府が置かれ、政治、文化の中心であります。大学、専門学校、農業、工業高校と一緒に文教の地の体制を整えていま

す。保育園、小学校、中学校の改築を進めていますが、文化水準を高めることを使命と信じ、そのための施策として普通高校の建設を宿題と致しております。

福祉については、現行制度を忠実に守り、財政のゆるす限り南国市にふさわしい行政を加味して行

う。保育園、小学校、中学校の改築を取得のため必要な資金を貸付ける住宅新築資金等貸付事業特別会計は、対象者が減少したため五千一百万円を減額補正。国民健康保険特別会計は六百七十万円を補正。

■南国市へ普通高校を早期に設置されたい。

■陳情

■南国市へ普通高校を早期に設置されたい。

別として残念なことである。この

ような事態をひきおこした原因は、採用に関する基本的なとりきめがなされていないことがにある。

今後この種の問題が再び発生し

ないよう採用試験要綱を作成、消防署を含めての実施をすることに強く要望する。

八年旧長岡役場に勤務。兵役後、同村助役。旧後免町役場を経て、市産経課長、市長公室室長、補佐監、教育次長を歴任。五十一年十二月から助役、産業経済・教育民生部門を担当。現住所は立田。

〔吉本太志男助役の略歴〕

大正十三年

年生まれ、五十五歳。長岡高等小学校卒。十一年卒業。

会社勤務。兵役後、昭和二十七年から鉄工所を経て、昭和四十六年十二月、市教育委員になり、昭和五十三年八月から教育委員長。

教育次長を歴任。四十九年四月市助役。五十二年一月から市教育委員、現住所は高知市。

〔田岡信雄収入役の略歴〕

大正十二年

年生まれ、五十六歳。陸軍航空通信学校卒。

兵役、農業従事のあと、昭和二十一年旧上村役場へ勤務。旧後免町役場を経て、市民課長、議会事務、各課長などを歴任。五十年十二月から助役、総務、建設部門を担当。現住所は立田。

〔藤本茂樹教育委員の略歴〕

大正九年

年生まれ、五十九歳。高知工業学校卒。

会社勤務。兵役後、昭和二十七年から鉄工所を経て、昭和四十六年十二月、市教育委員になり、昭和五十三年八月から教育委員長。

教育次長を歴任。四十九年四月市助役。五十二年一月から市教育委員、現住所は高知市。

〔門田真一教育委員の略歴〕

大正十年

年生まれ、五十九歳。高知農業学校卒。

年旧府村役場に勤務。同村助役、

教育次長を歴任。五十年十二月から南国市へ。総務・企画各課長、

教育次長を歴任。五十年十二月から南国市へ。

教育次長を歴任。四十九年四月市助役。五十二年一月から市教育委員、現住所は高知市。

〔福岡弘幸教育委員の略歴〕

大正四年

年生まれ、五十四歳。立青年学校卒。

年早稲田青年学校教諭。

昭和二十一年早稲田青年学校教諭。

昭和二十二年早稲田青年学校教諭。

可決された議員提出議案

■福祉切り捨ての政府予算編成に反対する意見書。

■文部省の四十名学級実現のための計画五年間を六年間に繰りあげるよう要望する意見書。

■議会に高知空港対策調査特別委員会を設置し、十二人の委員をもつて構成、高知空港に関する対策、調査を継続して調査すること。

■今回の職員採用試験が内外に波